

■ 共用品の配慮点 ■

● わかりやすさの配慮 ●

理解しやすい表現方法

わかりやすい文章・絵・図記号、色分け、ゆっくりにして音声、他言語などで類似のものと比較して理解しやすい



言語表現 色分け 図・絵記号 形状

視覚・聴覚情報の強化

大きな文字やフォント、コントラスト、音量や周波数などで、類似のものと比較して身体特性を補完



文字の大きさ コントラスト 音声の明瞭さ、調節機構

複数の手段で情報提供

触覚(含む点字)、音声、振動、文字、光など、複数の手段で情報提供し、識別しやすい

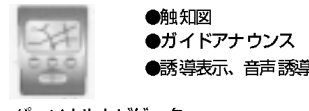


複数の代替情報 触覚情報 聴覚情報の代替

● 「アクセスのしやすさ」への配慮 ●

アプローチのための情報提供

触知図、案内表示、音声案内の充実などで、多様な人へアプローチ情報を提供



パーソナルナビゲーター

移動のしやすさ

様々な人に配慮したエレベータ、スロープ、自動ドア、手すり、床素材など移動支援の手段を用意している



座席シフト エレベーター

利用しやすい位置・配置

カウンターの高さ、操作盤や取り出し口の配置など接近性か類似のものと比較して利用しやすい



高さの調節 高さ違いを 下部の奥行き 用意

● 「扱いやすさ」への配慮 ●

容易な操作

片手、左利き、弱い力でも、器用さなどに配慮し、類似のものと比較して操作しやすい



持ちやすさ 片手・利き手 補助具

操作のフィードバック

わかりやすい操作感、報知音、表示などでフィードバックし、操作状況を確認できる



操作の確認音声・報知音、光、文字 操作感

自動化されている

類似のものと比較して複雑な操作を自動化・簡易化して、多様な人にも利用しやすい



全自動化 自動センサー

● その他の配慮 ●

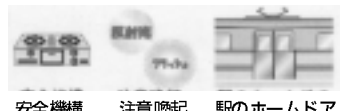
新しい配慮

多様な人へ、画期的な新しい価値を提供している

- 無洗米
- エアータオル
- むき栗
- 食器洗浄機
- 温水洗浄便座
- ロボット

多様な人への安全配慮

多様な人がいることを前提に、情報、素材、機構、構造などで安全性を強化。非難時、事故災害時の避難誘導



安全機構 注意喚起 駅のホームドア

入手・利用しやすさへ配慮

多様な人を考慮した販売方法・利用システムを用意

- 片方の靴のみ購入
- 集荷宅配
- 同じデザインのサイズ違いを用意
- コンビニ宅配

【お問い合わせ先】
財団法人共用品推進機構
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-4 ☎03-5280-0020 / FAX 03-5280-2373
HP: <http://kyoyohin.org/> (2004共用品リストはここから見ることができます。)

(PR) 財団法人共用品推進機構 ☎03-5280-0020 / FAX 03-5280-2373
URL: <http://kyoyohin.org/> E-mail: jimukyoku@kyoyohin.org

スペシャル版

～今回のテーマ～

「共用品」の 配慮・工夫をさがせ!

障害の有無、年齢の高低にかかわらず、より多くの人にとっても使いやすい製品、サービス、施設のことを、「共用品」、「アクセシブルデザイン」、「ユニバーサルデザイン」、「バリアフリー」など表現していますが、今回は、より多くの人に使いやすい製品の配慮を紹介します。(森川 美和)

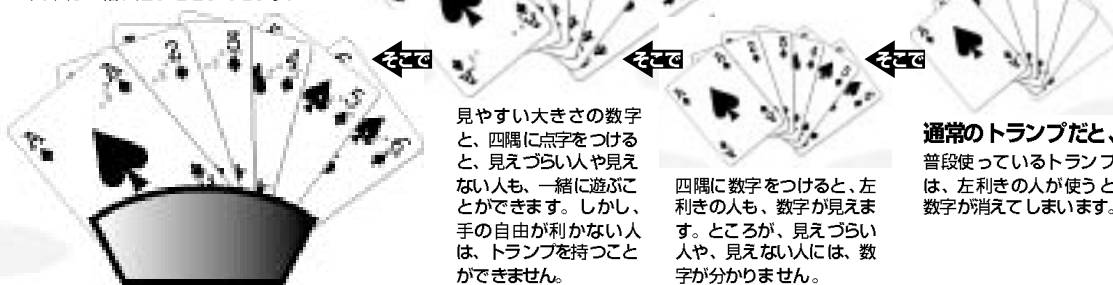


“いざ”じゃないとき知る知識!
“いざ”というとき引き出す知識!

バリアフリーな社会を生きるため、
必要なことを先取りしよう!

ホルダーがあると…

ホルダーがあると、右利きの人も、左利きの人も、見えづらい人や、見えない人、手の自由が利かない人など、多くの人が一緒に遊ぶことができます。



〈みんなが使えるって
どんなこと?〉

見やすい大きさの数字と、四隅に点字をつけると、見えづらい人や見えない人も、一緒に遊ぶことができます。しかし、手の自由が利かない人は、トランプを持つことができません。

四隅に数字をつけると、左利きの人も、数字が見えます。ところが、見えづらい人や、見えない人には、数字が分かりません。

通常のトランプだと、普段使っているトランプは、左利きの人が使うと数字が消えてしまいます。

今あるものに、ちょっとした配慮や工夫をすることで、より多くの人々が、使えるようになります。これが、「共用品」の考え方です。もちろん、はじめから「共用品」を作るために、配慮したり、工夫することも大事です。

たくさんある配慮点を考えるには、「だれに」、「どんな配慮・工夫」を伝えるか、「対象者と配慮」を考え、「その人達はその配慮で本当によいか」と、使用者に試してもらうことで、配慮や工夫はより生きてきます。

モノを作る人
ではないから、
配慮は
知らなくてもいい?

A いえいえそんなことはありません。

モノを作る人でなくても、配慮を知っていることで、日常生活に不便を抱えている人達に、情報を伝えることができます。

A 「共用品」は特別なものではありません。

みなさんの身の回りにあるものです。今号の配慮点を参考に、してどんどん探して、情報の必要な方にお伝えください。